

やまと

1 月号

2019 No. 261

広報





もくじ

- 02-03 特集1：新年のご挨拶
- 04-05 特集2：成人式
- 06-09 シマの話題
- 10-11 連載：ワンダー奄美（地域おこし協力隊通信）ほか
- 12-14 お知らせ
- 15 大和村長のフォトダイアリー、ほか
- 16 島の宝、ほか



謹賀新年



村民の皆様、新年あけましておめでとうございます。

村民の皆様には、輝かしい平成31年の新春をご家族おそろいで迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

今年は亥年でございます。猪年生まれの人、「猪突猛進」、意思強固で熱心でひたむきな性格であり、心がやさしく正直者であると言われております。

本年が、ご家族にとって、猪のように前に突き進んでいけるように、実りある一年となります事を心から願っております。

さて、昨年は、奄美群島におきまして、大型台風の襲来により、住居及び公共施設や農業を中心に大きな被害がありました。大自然の驚異を改めて思い知ったところでありました。

そのような中、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の世界自然遺産登録が延期されましたことは大変残念に思っておりますが、「生物多様性」など奄美の自然に対する一定の評価は得ており、今年2月の推薦決定がなされたところでもあります。

国はもとより、鹿児島・沖縄両県及び、関係市町村並びに、地域住民のご理解ご協力を得ながら、引き続き保全活用に必要な対策検



討を進めて参りたいと思えます。

また昨年は、NHK大河ドラマ「西郷どん」のロケ地にもなった事で多くの交流人口の増加につながっていると感じているところでもあります。改めて奄美群島の振興発展に尽力して参りたいと決意を新たにしているところであります。併せまして、平成30年度で期限が切れる奄振法につきましても、関係省庁のご理解ご協力のもと、法延長を前提とした予算編成において、31年度も地元の要望を組み入れた額が確保されたものとなり、奄美群島がステップアップする年になると期待をしているところであります。

それでは、年頭に当たり、村政の主な基本方針について申しあげます。

まず1点目は、「行財政改革の推進」であります。事業の効果や必要性など十分な検討を行い、常に「最小の経費で最大の効果」を目指し、適正な予算執行による健全財政の確立で村民福祉の向上に努めて参ります。

2点目は、「農林水産業と観光振興による雇用創出や交流人口の拡大」であります。合同会社「ひらとみ」の機能充実による、第

1次産業の振興、雇用の創出、特産品の販路拡大等を図る他、本村の課題解決に取り組みます。

3点目は「企業誘致と空き家改修や定住促進住宅の整備促進」であります。企業誘致の実現に努めるほか、村独自の空き家改修や住宅整備による定住促進の更なる充実・強化に努めます。

4点目は「子育て支援の拡大」であります。本村独自の支援策を継続するほか、昨年度から始めた0歳児保育・就学援助費助成・専門学校通学補助・公営住宅家賃助成・インターネット塾などの拡充に努めます。

その他、「道路交通網、情報通信網、生活環境の整備促進」、「安全・安心な大和村づくり」の、合計6つの基本方針を推進し、村民と共に明るく心豊かな「まほろば大和」の創造に取り組むことで、「村民が主役・小さくとも光輝く村づくり」の実現に邁進して参りたいと思います。

そして今年はや号が変わる年でもありません。新たなスタートとの思いをもって、村制施行111周年を迎えるにあたり、先人が築き上げた功績を守りながら、「豊かな自然や伝統文化」を継承し、後世に残していくための施策を推進していきながら、大和村の基本理念である「自然と共生し、生き生き、安全・安心な住みよい村づくり」の実現に向けて努力して参ります。

以上のこと等に、全職員一丸となって、全力を尽くして参る所存でありますので、村民の皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新春にあたり、村民の皆様方の限りないご多幸と、益々のご健勝をお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。

平成三十一年 元旦
大和村長 伊集院 幼



祝

平成31年

20歳の記念日（成人式）

主催 大和村教育委員会



ご成人おめでとうございます



大和校区



才原文哉さん

立派な調理師になって島に帰りたい。国直が盛り上がっているので嬉しいです。くんによりサイコー。



塩屋夏海さん

親、地域の方への感謝の気持ちを忘れず、支えてくれた方々に恩返しができるよう頑張ります。



池田彩音さん

英語を使う職につき、奄美に帰ってきたいです。ふるさと大和村を誇りに思います。



林聖蓮さん

大和村が大好きです。必ず帰ってきます。



田畑楓さん

成人式を迎えてすごく嬉しい。社会人としての自覚を持ちながら頑張りたいです。



出見友里香さん

笑顔を絶やさないう素敵な女性になりたい。大和村に恩返しができるよう頑張りたいです。

二十歳の記念日・成人式が1月4日、大和村防災センターで開催されました。平成10年度生まれの31人が成人を迎え、19名が式に出席。晴れ着に身を包み、久しぶりに再会した仲間たちと成人の門出を喜び合う姿が見られました。

藤井教育長が、「これからの人生において喜びも、悩みも、苦しみもあるでしょう。人の心がわかる優しさをもち、自分には負けない『スットゴレ魂』で、志を果たして欲しい」と式辞を述べ、唱歌「故郷」を唱和しました。続いて、伊集院村長、大和村議会の勝山議長、大和村連合青年団の納団長が祝辞を述べ、人生の大海を進み始めた新成人に激励の言葉を贈りました。

新成人代表の才原文哉さんは謝辞において、「家族・地域の人々のまなざしを思い出し、これまで東京で生活することができた。社会人としての責任を持ち前進する覚悟を持ち、将来島で活躍できるよう頑張ります。」と力強く語りました。



濱崎 大輝さん

今年から自動車関係の仕事に就くので技術を身につけ、将来は大和村に工場を建てたいので頑張ります。



重信 綾美さん

社会人としての自覚を持ちながらしっかり歩んでいきたいです。立派な美容師、ネイリストになりたい。



仁規 愛海さん

国試に合格し、村に貢献したい！！将来は絶対に大和村で暮らしたいです。



福田 そよかさん

管理栄養士を目指しています。大和村はゆっくりとした島時間で落ち着く場所だと改めて思いました。



小田 康太さん

大人になったことを実感しました。良い家庭を築いていきたいです。



長田 虎太朗さん

大和村で水泳に出会うことができ、4年間温かく受け入れて頂きありがとうございました。将来は保健体育の教員になりたい。




幡 紗彩さん

看護師として地域貢献に努めていきたい。新成人として気持ちを新たに頑張ります。



浜崎 蓮さん

将来は人の役に立てるようになり、いつか大和村に帰ってきたい。

大棚校区 



大石 眞子さん

小さい頃から大和村で育って、地域の人や家族など様々な人に支えられて成人を迎えられたことに感謝しています。



内山 夏希さん

自分の言動に責任を持ち、誰かの手助けをできるような人になりたいです。祖母の紬を着て成人式に出席できてうれしい。



直崎 大生さん

将来、島に帰ってきて社会福祉士として高齢者福祉にかかわる仕事をしたいです。



大園 拓海さん

3歳～小1まで大棚に住んでいましたが、家族全員が大棚が大好きで、第2の故郷のような存在です。



前田 凌太郎さん

今よりも勉学に励んで、自分を育ててくれた大和村を盛り上げられるようになりたい。

新成人の皆さんに将来の目標、ふるさと大和村への思いを尋ねました。頂いたコメントを抜粋して掲載しています。
新成人の皆さま、アンケートへのご協力ありがとうございました。

正月準備は朝市で

ひらとみ朝市 開催



年末恒例のひらとみ朝市（主催：同実行委員会）が12月28日（金）の早朝、大和港恵勝地区緑地広場で行われました。地場産の野菜や近海で水揚げされた新鮮な魚介類、正月飾りの門松やしめ縄などお正月に向けた商品が並び、大勢の人で賑わいました。毎年人気を博している農産物の販売ブースには、午前7時の販売開始前ですでにお客さんの列ができて、福元だいこんをはじめとした大和村産農産物を買って求めました。

会場では、まほろばやまと漁業集落が魚汁を、生活研究グループがつきたてのお餅が入ったぜんざいを無料でふるまい、来場者は体を温めてほっと一息ついていました。また餅つき体験をする地元の親子や海外からの滞在者の姿も見られ、それぞれに年末恒例の朝市を楽しんでいるようでした。



自分でついたお餅を食べる台湾からのお客さん。

地域の安全を祈願して

出初式 開催

1月6日（日）、大和中学校体育館において、一年の無火災・無災害と消防団員の士気高揚を祈念して平成31年大和村消防出初式が開催されました。あいにくの天気のため体育館での開催となり、恒例の一斉放水演習はありませんでしたが、通常点検が行われた観閲式や行進の際には、きびきびとした規律ある動きで日頃の訓練の成果を発揮しました。

近年、自然災害が多発する傾向にあり、地域に密着し機動力の高い消防団は地域の安全の要です。休日返上で訓練に励む消防団員の皆さま、本当にありがとうございます。



表彰者の方々



■鹿児島県消防協会表彰
功績章 元平 哲文
元山 満雄

精績章 今井 隆
森 亮
奥田 光夫

■鹿児島県知事表彰
10年勤続章 森博久
吉原 修

■消防庁長官退職消防団員報償
森岡 豊史
吉本 弘典
細川 伸
浜井 康彰

■大島支部長表彰
功績章 森岡 豊史
吉原 修

15年勤続章 戸内 菊治

笑いの力でパワーアップ

老人クラブ交流会開催



思勝 AKB48 による「恋するフォーチュンクッキー」

余興の部では、各集落から趣向を凝らした出し物が披露され、会場は大きな笑い声と拍手に包まれました。また来年も元気な姿を見せてくださいね。各グループの出し物の写真を紹介いたします。

1月19日（金）、大和村老人クラブ交流会が大和村防災センターで行われました。老人クラブがある10集落から約180名が参加。鹿児島県認知症介護指導者の中津 詩穂さんを講師に迎え、「楽しく脳の健康教室」と題した講座があり、認知症の予防に役立つ生活習慣などが紹介されました。



国直の皆さんによる「きよしのズンドコ節」



今寿会の皆さんによる「膝が笑った」



津名久合唱団による「青い山脈」と「二人は若い」



大和浜 野村さんによる「雪国」



大金久 元山さんによる「すきま風」



湯湾釜 永野さんによる「験の母」



戸円 坂元さんと植元さんによる「俵屋玄蕃元禄名槍譜」



名音むつみ会による「恋かすみ」



大和村老人クラブによる「若鷺のうた」

シマの伝統を未来に引きつぐために

環境文化を考えるシンポジウム開催



1月12日、大和村防災センターにて、鹿児島大学の鹿児島環境学救急会と環境省奄美野生生物保護センターの共催で、「シマの暮らし（環境文化）を考える」シンポジウムが開催されました。環境文化とは、自然景観とともに育まれてきた人々の暮らしや文化を指す言葉で、奄美群島国立公園の特徴です。このシマ独特の文化の価値を住民にひろく知ってもらい、未来へと継承するヒントを模索しようというテーマでシンポジウムが行われました。集落歩きプログラムや体験型観光に取り組む国直集落、龍郷町秋名・幾里集落、住用町市集落の代表者や、集落の先輩世代、若者世代の代表者、移住者らが登壇しディスカッションを行いました。およそ50名の来場者同士でも意見を交わし合い、集落や世代を越えた活発な議論がなされました。集落の伝統文化・伝統行事は、この世界で唯一無二のものであります。これを次世代に引き継ぐことができるのも、ここに住む私たちだけなのだということを改め感じる機会となりました。

英語に親しむ体験教室

保育所 英会話教室開催



1月25日、保育所園児を対象とした英語教室「英語で遊ぼう」が大和村防災センターで行われました。英語に関心を持つきっかけになればと村が企画し、今回で3回目の開催です。村内の保育所の4・5歳児の23名が対象で、子どもたちは音楽にあわせて体を動かしながら、英語の色の名前を覚えたり、数を数えたりと、大きな声で楽しそうに参加する姿が見られました。

先生は今里在住のティム・ショースタクさん。アメリカ合衆国アリゾナ州出身で、平成29年7月から家族4人で今里に住んでいます。大和小と今里小でALTとして勤務する傍ら、自ら会社を立ち上げ、英会話教室・通訳・翻訳・観光通訳ガイド業などでも活躍されています。ティム先生は今回の教室を終えて、「子どもたちは英語をただ繰り返すだけでなく、好き嫌いなど自分の考えを伝えるツールとして英語を使うことができている素晴らしい。教室の外でもたくさん英語を使っています。見かけたらぜひ話しかけて。」と話していました。



伝統のイザリを体験しました！



ウニだと思うのですが、見たことない種類です。



大きなタコと記念撮影。頂いたスガリというタコは、柔らかくて美味しかったです。

先日、村内でイザリを体験しました。連れて行ってくれたのはイザリ名人のご夫妻。岩場でも滑らないように足袋を借りて、満月に近い月の下、恐る恐る海に入りました。

夜の海というと、とても怖くて歩けないと思いきや、海の中の地形までよく知っている方と一緒に、近所の小学生も同行していたので、ワイワイと楽しく参加できました。リーフでは見たことないウニやナマコ、半分寝ている魚、眼を光らす赤ちゃん伊勢海老など今まで知り得なかった海の姿がありました。私は小さな貝を見つけるのでやっとなりましたが、名人の獲った大きなタコを見た時は大興奮！ また足元のリーフの奥から低い波の音がするのを聞いて、自分が海の上にいることに怖さと共に、自然の面白さも感じました。

名人がおっしゃっていたことで印象的だったのが、このイザリは「遊び」だということ。集落の目の前の庭のような海で、潮の満ち引きや月の明るさを利用した遊び……壮大で優雅な遊びですね。奄美の人々の心の豊かさはこういったところから来るのかもしれないと感じました。一年で最も潮の引く冬の時期にのみ行われる伝統のイザリ。奄美の人々の生活に根付いています。



合同会社ひらとみ のウノママ大和村

Unmama Yamatoson

第 1 回 南の島の高原野菜



毛陣の農園でトケイソウをハウス栽培しています。春にはパッションフルーツを出荷予定です。

はじめまして。合同会社ひらとみの久保和也です。このコーナーでは、合同会社ひらとみの活動についてお伝えしていきます。

現在行っていることのひとつは、福元盆地で育てられた農産物を『福元野菜』として先駆的にブランディングし、それにより大和村で生産される農作物全体の価値を向上させる取り組みです。

私がこの取り組みを行おうと考えたのは、大和村に福元盆地という南西諸島の島でありながら山深く、高原とも呼べるような独特な地形があり、そこでとても質の良い農産物が作られていることに感銘を受けたことがきっかけです。

今後は、福元盆地で作られた農産物を「南の島の高原野菜」というコンセプトで、『福元野菜』として島内外のイベント等でPRするとともに、全国に向けて大和村産農作物の情報発信を行っていく予定です。皆様が作られた素晴らしい農産物を、奄美大島の大和村にはこんなに美味しいものがあると全国の方々に知ってもらえるように紹介していきたいと思います。私も農家としてはまだまだ未熟ながらも、少しでも大和村全体の農業が盛り上がりげればと考え、毛陣地区の農園で作物を育てています。どうぞよろしくお願い申し上げます。



高い山々に囲まれた福元盆地の畑と、降り注ぐ太陽をイメージしてこのロゴを作成しました。これを活用して大和村産野菜をPRしていきます！



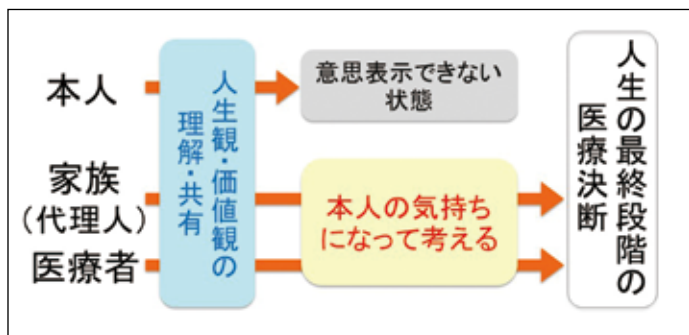
人生会議をしてみませんか？

文／小川信

一年の初めにとっても大事な話をしようと思います。人は誰でも、いつでも、命に関わる大きな病気やケガをする可能性があります。命の危険が迫った状態になると、約70%の方が医療・ケア（介護）などを自分で決めたり、希望を人に伝えたりすることが出来なくなると言われています。そこで人生会議が重要になってきます。「人生会議（アドバンス・ケア・プランニング；ACP）」とは、自らが望む人生の最終段階における医療・ケアについて、前もって考え、医療・ケアチーム等と繰り返し話し合い共有する取組のことです。自分の人生の最終段階（終末期）における医療・ケアについて、自らが希望すること、大切にしていることや望んでいること、どこで、どのような医療・ケアを望むかを

自分自身で前もって考え、周囲の信頼する人たちと話し合ってみませんか？

人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）



あなたの心身の状態に応じて、かかりつけ医等からあなたや家族等へ適切な情報の提供と説明がなされることが重要です。このような取組は、個人の意思により進めるものであり、知りたくない、考えたくない方への十分な配慮が必要です。人生会議について、もっと知りたい方は診療所までご連絡ください。

引用 厚生労働省ホームページ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/saisyuu_iryuu/index.html

世界自然遺産
をめぐす

第11回

ウツチノキの いきむんマンディ

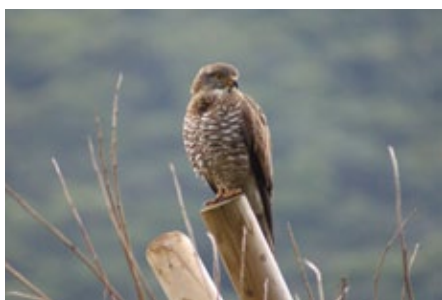
冬鳥の代表サシバについて

文／奄美自然体験活動推進協議会 吉田明美

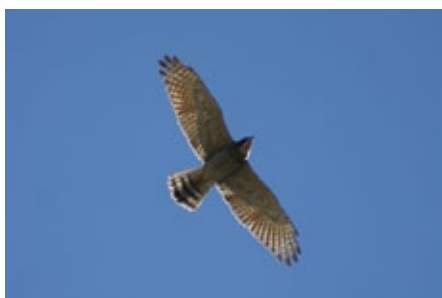
前々号で冬鳥についてのお話をしましたが、今回は冬鳥の代表であるサシバに注目してお話したいと思います。

「ミーニシがふけばサシバが飛来する」、「ピーちばヒュー」など、サシバは秋の訪れやシイラが捕れ始める時期を知らせることわざにも登場するととても身近な鳥ですが、みなさん、サシバについて他にどんなことをご存じでしょうか。サシバは冬を越すために奄美に飛来しますが、春にはいなくなってしまう。奄美にいない季節は、本州・四国・九州、朝鮮半島や中国の東北地方などで、子育てをして過ごしています。これらの地域では夏鳥ということになります。ちなみにサシバの中にはフィリピンやインドネシアまで南下し冬を越すものもいるそうです。

冬の奄美ではとても身近によく見かけるサシバですが、実は絶滅危惧種で数は多くありません。かなりの距離を移動することからもわかるように、サシバには国境はありません。サシバが安心して暮らしていくためには、奄美だけでなく世界的に守っていくことが大事です。しかし、まずは奄美にやってくるサシバが無事冬を越して、子育ての地に渡っていけるよう、みんなで奄美の自然を守っていきましょう。



タカの仲間で体長 50 センチほど



羽を広げると1メートルを超える

鹿児島県身障者用駐車場利用証制度（パーキングパーミット制度）

身障者用駐車場利用証制度とは？

この制度は、公共施設や店舗など様々な施設に設置されている身障者用駐車場を適正にご利用いただくため、障害のある方や介護の必要な高齢の方、妊産婦の方など歩行が困難と認められる方に対して、県内共通の「身障者用駐車場利用証」を交付することで、本当に必要な人のための駐車スペースの確保を図る制度です。

<申請先>

大島支庁地域保健福祉課

TEL：0997-57-7243

<申請方法>

●窓口申請の場合● 手数料無料

【受付時間：平日 8：30～17：00】

必要書類を窓口を持参してください。

※代理申請の場合は、代理人の身分証明書が必要です。

※車を運転される車いす常時利用者の方は、運転免許証をご持参ください。

●郵送申請の場合●

必要書類と返信用切手(140円)を同封の上、窓口へ郵送してください。

<必要書類>

○申請書

(窓口・県ホームページにあります)

○下記の書類の写し

身体障害者の方	身体障害者手帳
知的障害者の方	療育手帳
精神障害者の方	精神障害者保健福祉手帳
高齢者の方	介護保険被保険者証
難病患者の方	特定疾患医療受給者証
妊産婦の方	母子手帳（住所、氏名、分娩予定日の記載のあるページ）
けが人の方	医師の診断書（車いす、杖等の使用期間の記載が必要）、身分証明書

<交付対象者・有効期限>

●身体障害者の方			有効期限
*手帳に記載された個別の障害程度で判定します	視覚障害		1～4級
	聴覚又は平衡機能の障害	聴覚障害	対象外
		平衡機能障害	3級
	音声機能、言語機能又はそしゃく機能の障害		対象外
	肢体不自由	上肢	1・2級
		下肢	1～6級
		体幹	1～3級
		乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害	上肢機能
	移動機能		1～3級
	心臓機能障害		1・3級
	じん臓機能障害		1・3級
	呼吸器機能障害		1・3級
ぼうこう又は直腸の機能障害		1・3級	
小腸機能障害		1・3級	
ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害		1～3級	
肝臓機能障害		1～3級	
●知的障害者の方	療育手帳の障害程度が「A」、「A1」又は「A2」の方		5年
●精神障害者の方	精神障害者保健福祉手帳の等級が「1級」の方		
●高齢者の方	介護保険被保険者証の要介護状態区分が「要介護2～5」の方		
●難病患者の方	特定疾患医療受給者証をお持ちの方		
◆妊産婦の方	妊娠7ヶ月～産後3ヶ月 出産予定日の4ヶ月前から申請できます		
◆けが人の方	骨折等による車いす・杖等の使用期間		1年未満



運転をされる皆様へお願い

「身障者用駐車場利用証」の掲示がない車輛が身障者用駐車場に駐車していることがあり、本当に必要な方が利用できなく困っています。ご協力をお願いします。

県立大島病院からお知らせ



院内トリアージの実施及び実施料の算定について

県立大島病院救命救急センターでは、徒歩または自家用車等で来院した患者さんに、トリアージナース（救急医療に関する3年以上の経験を有する専任の看護師）が待合室に行き、患者さんの状態を観察し、重症度・緊急度を判断して早い診察につなげることを目的として、院内トリアージを実施します。

実施内容及び実施料等につきましては、下記のとおりです。不明な点につきましては、県立大島病院までお問い合わせください。

※院内トリアージとは

救急外来に来院した患者さんに対して、問診、血圧、体温、脈拍、呼吸数測定等を行い、病気やケガの緊急度を判定し、治療などの優先順位を決めること。

- 1 実施日
平成31年1月以降
- 2 実施時間帯
概ね、①～③のとおり
 - ① 月～金：午前0時～午前8時、午後6時～午後12時
 - ② 土曜日：午前0時～午前8時、正午～午後12時
 - ③ 日・祝：終日
- 3 実施場所
県立大島病院救命救急センター（待合室）
- 4 実施料が算定される者
「2」の時間帯に受診した初診料を算定する患者さんで、来院後、速やかに院内トリアージが実施された者

【注意事項】

- ① 救急車で搬送された場合は除きます。
 - ② 待合室に他の患者さんがいない場合は算定しません。
- 5 トリアージ実施料 300点（3,000円）
保険適用の場合、自己負担は1～3割

問い合わせ先

- ① 県立大島病院経営課 平日 8:30～17:00
0997-52-3611（内線 3912、3474）
- ② 救命救急センター 上記以外
0997-52-3611（内線 2851）

大和村長の意思表明

消費生活相談について

「消費生活相談については、近年悪質業者の手口は複雑かつ巧妙化しており、全国的に消費生活相談件数は年々増加しています。村では住民税務課内に消費者行政担当職員を配置し、より高度な相談にも対応できるように相談体制をとっています。今後も継続して、消費者被害を未然に防ぐための啓発活動の推進等相談体制の充実を図っていきます。」

大和村長 伊集院 幼

□問合せ先 住民税務課

電話 0997 (57) 2127 (直通)

奄美奨学会貸与生を募集しています

公益財団法人奄美奨学会は、奄美大島出身者の子弟で、大学等に在学し、成績優秀、心身健全でありながら、経済的な理由により修学困難な方に必要な資金を貸し付け、有用な人材を育成することを目的としています。詳しくは、奄美奨学会までお問い合わせください。

学校	金額	貸付期間
高専・短大・大学生	3万円/月	正規の修学期間
大学院生	3.5万円/月	正規の修学期間

□選考方法 願書は平成31年4月末日締切。書類選考、場合により面接を行い6月中に決定。

□問合せ先

公益財団法人奄美奨学会事務局

(加納会計事務所内)

電話 03 (3456) 1100

お引越し予定の皆様へ

進学や就職・転勤・転居等で住所が変更になる場合には「マイナンバーカード・通知カードの住所変更手続き」を併せてお願い致します。

住所が変わってもマイナンバーは変わることはありませんが、「マイナンバーカード」や「通知カード」に新住所を追記する必要があります。転入や転居の手続きをする際は、手続きをする市区町村窓口で「マイナンバーカード」または「通知カード」の住所変更手続きを行ってください。

また、3月下旬から4月上旬は市区町村の窓口が混雑しますので余裕をもったお手続きをお願い致します。

□問合せ先 住民税務課

電話 0997 (57) 2127 (直通)

世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間

毎年4月2日は国連が定めた「世界自閉症啓発デー」、また、同日から8日までは「発達障害啓発週間」です。自閉症をはじめとする発達障害の方は、他人の意図や感情を直感的に理解したり、言葉を適切に使うことなどが苦手な場合があります。学校や職場でさまざまな問題や困難に直面することがあります。これらは、親のしつけや家庭環境が原因ではなく、脳機能の発達に関係するもので、見た目には障害があることがわかりにくいいため、行動や態度が誤解されることがあります。発達障害の特徴を知り、正しく理解していただくことが大切です。

■問合せ先 県庁障害福祉課

電話 099 (286) 2744

ファックス 099 (286) 5558

メール s-youiku@pref.kagoshimalg.jp

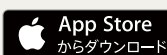
スマホのアプリで「広報やまと」をいつでも、どこでも！

まちを好きになるアプリ



行政情報アプリ「i広報紙」が「マチイロ」としてリニューアル！

ダウンロードはこちらから



自治体がもっと身近になる機能が盛りだくさん！

1 役立つ行政情報を見逃さない！

2 自分に合わせた情報が届く！

3 いろいろなまちの魅力をお届け！

※「i広報紙」をご利用中の場合、アップデートによって新アプリに切り替わりますので、新たにダウンロードする必要はありません。※アプリの使用は無料ですが、通信費は各回線ごとのご負担となります。※広告が表示されますが、各自治体とは何ら関係ありません。

問い合わせは株式会社ホープ(092-716-1404)まで

表紙写真の紹介



恩師を囲みセルフィー

新成人の皆さん、おめでとうございます。唱歌「故郷」の歌詞にあるように「志を果たして いつの日にか帰らん」ことを大和村は願っています！それまでの間、皆さんの信じる道を突き進んでください。応援しています！

大和村長のフォトダイアリー



1月2日、国直海岸にて大和村水泳連盟による新春恒例の「初泳ぎ」を開催しました。暖かい新年ではありましたが、さすがに水は冷たく、大声をあげて一斉に駆け込みました。三本締めで今年一年が皆様にとって素晴らしいものとなることを祈願した後、保護者の方に作って頂いた温かいぜんざいで寒さをしのぎました。毎年一年の始まりをこのように清々しい気分で迎えることができますことに、関係者の皆様に感謝申し上げます。村民の皆様が今年一年、年齢に関わらず、それぞれに運動を続けながら自らの目標に向かい、健康でますますご活躍されますことを祈念いたします。

大和村長 伊集院 幼

お誕生おめでとうございます

宮田 成さん

(父)龍 母夏妃・思勝

南昇 冨さん

(父)利通 母聖子・大和浜

お悔やみ申し上げます

窪山 キヨ様 (89歳・大柵)

戸内 初枝様 (77歳・戸円)

前田 池里様 (89歳・大柵)

森山 博勝様 (68歳・思勝)

富山 富二様 (89歳・戸円)

高橋 町子様 (71歳・湯湾釜)

澤山 タカ子様 (83歳・大金久)

榮 静菊様 (92歳・戸円)

福山 ナヲ様 (98歳・名音)

香典返し (社会福祉協議会へ)

窪山 寿美乃様 (故窪山キヨ様)

東條 ナツ様 (故幸田シゲ様)

前田 シズ子様 (故前田池里様)

森山 教子様 (故森山博勝様)

高橋 理沙様 (故高橋町子様)

澤山 英樹様 (故澤山タカ子様)

栄 平四郎様 (故栄静菊様)

ふるさと納税

ありがとうございます

堀田 光子様 (名古屋)

塩福 武志様 (名古屋)

吉原 安久様 (沖縄)

清水 敬之様 (大阪)

三島 寿紀様 (埼玉)

栗根 尚子様 (相模原)

押川 輝和様 (東京)

加藤 春男様 (愛知)

福田 郁雄様 (千葉)

中井 茂樹様 (東京)

奈良 真理子様 (福岡)

平山 由起子様 (東京)

竹下 佳宏様 (千葉)

池和 夫様 (大阪)

青山 和枝様 (東京)

飯富 聡一様 (東京)

江崎 浩司様 (名古屋)

政文 祐様 (神奈川)

上ノ原 健志 (愛知)

牧野 克俊様 (三重)

澁谷 拓也様 (香川)

小林 奈穂子様 (東京)

城利 幸様 (東京)

中濱 寛様 (東京)

新井 悟様 (東京)

江浪 まつみ様 (兵庫)

小林 亮様 (東京)

サーフエン 智様 (東京)

伊集院 茜様 (鹿児島)

木村 太一様 (千葉)

長岡 努様 (東京)

塩田 康一様 (福岡)

石渡 絵美梨様 (東京)

小椋 崇弘様 (東京)

實田 健様 (兵庫)



つきの
安住 月稀さん

父 豊和さん 母 環さん (大瀬)
保護者からのコメント
「元気に大きくなってね」



ゆう
松田 侑さん

父 正さん 母 知子さん (湯湾釜)
保護者からのコメント
「歌にあわせて踊るのが大好きな侑くんです」



ひゅうま
上村 彪真さん

父 拓三さん 母 リリアさん (湯湾釜)
保護者からのコメント
「お兄ちゃん達に負けないようにたくましく育てね」

こせきの窓

人口 1491人 (△33)
男 730人 (△14)
女 761人 (△19)
世帯 863世帯 (△8)
12月31日現在
(前年同月比)

暮らしの中の認知症を考える一日

第7回 大和まほろば福祉まつり

わたしに関することは、どんなことでも
最初にわたしに聞いて下さい。
わたしのことを、わたしを抜きに
決めないでください。

クラスティーン・ブライダン (オーストラリア在住)
～認知症ご本人の言葉より～

入場無料
申込み不要

平成31年 2月17日(日)

大和村防災センター 9:30～12:00 (受付9:00～)

特別企画

12:30～13:30
ご本人と
その家族のつどい
福田さん・中倉さんと
語り合おう
申込み先: 57-2218

寸劇 9:35～ 思勝おがみの会

講演1 10:00～ 永田 久美子 氏
(認知症介護研究・研修センター研究部部长)

講演2 10:40～ 福田 人志 氏
(認知症ご本人)

トークセッション
11:10～
ご本人・パートナー・家族の立場から

野菜・試食品販売コーナー
12:00～12:30

※座って飲食できるスペースはありませんので、
ご注意ください。

問合せ先 大和村地域包括支援センター(0997-57-2218)



←バーコード読み取り機能付き携帯電話をご利用の方はここから大和村ホームページへ簡単にアクセスできます。それ以外の方は直接 URL を入力してアクセスしてください。
(<http://www.vill.yamato.lg.jp>)

発行・編集 大和村役場企画観光課
〒894-3192 鹿児島県大島郡大和村大和浜 100 番地
TEL 0997-57-2111 FAX 0997-57-2161
mail:kikaku@vill.yamato.lg.jp
<http://www.vill.yamato.lg.jp>